

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会主催  
平成27年度 第3回 がん登録実務者ミーティング 議事録

日時：平成27年12月9日（水）14時～16時

場所：兵庫県立がんセンター 2階 大会議室

出席者：31病院（国指定拠点病院・県指定拠点病院・準拠点病院） 49名

1. 開会

2. 挨拶 兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会副部会長 西尾渉先生

3. 議事

1) 講演【がん登録における生存率の基礎】

兵庫県がん診療連携協議会がん登録部会長 兵庫県健康福祉部参事兼疾病対策課課長 味木和喜子先生より、生存率の基礎とその解析についてご講演いただいた。

- 生存率は、その数字の高低だけで判断せず、影響要因等の患者背景を考慮する。
  - ・ 部位により、性別・年齢などの影響を受けるので年齢分布も見ておくべき
- 生存率調査のために患者・家族への接触は、患者の医学的管理を目的とすべきである。調査目的での接触は、患者・家族の負担となりうることへの配慮が不可欠である。
- 2016年登録症例は、2021年に5年生存率がピリオド法で算出される予定である。
- 予後情報の精度で生存率に影響が出る。

2) グループ発表及び討論

7グループに分かれ、【病院長、医師などへのがん登録分析のプレゼンテーション】と題して、事前に各病院でパワーポイントを用いて自施設の医療圏やアピールポイントについて資料を作成し、グループ内で発表を行った。

発表を聞いた医療機関は、感想や改善点などをシートに記入し、発表者に感想や発表に対する別の視点をフィードバックし、活発な意見交換が行われた。

3) プレゼンテーション

- (1) 姫路赤十字病院 【部位別・医療圏別・院内がん登録件数】など
- (2) 兵庫県立がんセンター 【2013年診断の院内がん登録から見える自施設の特徴】
- (3) 姫路医療センター 【2014年診断症例と肺癌の組織別生存率】

4. 総括

兵庫県健康福祉部参事兼疾病対策課課長 兵庫県がん診療連携協議会がん登録部会長 味木 和喜子先生

○グラフのみせ方・作り方について

- ・ 効率的にグラフをアピールするためには、例えば棒グラフであれば、分析の視点に応じて、多い順、少ない順に並べる等、視覚に訴える工夫が必要。

5. 閉会